

宮城県雇用維持交付金算定書

各判定基礎期間ごとに各1枚を作成します。

記載要領

	(1)は、「宮城県雇用維持交付金支給申請書」に記載した内容を元に記載してください。 (2)は、「緊急雇用安定助成金支給申請書」を参照して記載してください。 (3)(4)(9)は、「緊急雇用安定助成金助成額算定書」を参照し、本算定書記載の項目名と同一名の内容(金額・延日数)を記載してください。 ※宮城労働局において訂正を行っている場合は、訂正後の内容を記載してください。
	(5)(6)(7)(8)(10)は、項目名に記載の内容に従って金額を記載してください。

(1) 県申請書に記載の休業実施事業所名称		(2) 判定基礎期間	
		令和__年__月__日 ~ 令和__年__月__日	
	項目名	休業	
(3)	「算定書 (4) 平均休業手当日額」	①	円
(4)	「算定書 (5) 1人1日当たり助成額単価」	②	円
(5)	<u>(3)の金額から(4)の金額を差し引いた金額の2分の1</u> (円未満端数切捨)を記載	③ 計算式 (①-②)÷2	円
(6)	<u>(4)の金額と(5)の金額の合計額</u> を記載	④ 計算式 ②+③	円
(7)	<u>(6)の金額が</u> 【15,000円以内の場合】 記載不要。 <u>(8)</u> へ 【15,000円より大きい場合】 15,000円から <u>(4)の金額</u> を差し引いた金額を記載	⑤ 計算式 空欄または15,000-②	円
(8)	1人日当たり助成額単価 <u>(6)の計算結果が</u> 【15,000円以内の場合】 <u>(5)の金額</u> を記載 【15,000円より大きい場合】 <u>(7)の金額</u> を記載	⑥ ③または⑤	円
(9)	「算定書 (6) 対象労働者の休業延日数」	⑦	人・日
(10)	県助成額(申請書に記載する申請金額) <u>(8)の金額に(9)の延日数</u> を乗じた額を記載	⑧ 計算式 ⑥×⑦	円